

岩見沢

郷土科学館だより

No.153

平成30年4月27日

歴史と科学の館

岩見沢郷土科学館

〒068 北海道岩見沢市志文町809番地-1 ☎(0126)-23-7170

岩見沢郷土科学館では、小中学生を対象にした科学工作教室（『いわなびチャレンジスクール』の一環として開催）や郷土科学館友の会主催の天体教室、一般を対象としたパソコン教室などを開催しています。

今年度の5・6月に開催予定の事業について、お知らせします。

ミニソーラーカーづくり

5月19日(土)10:00~12:00

いわなびチャレンジスクールとしておこないます。会場は、郷土科学館です。

対象：小中学生（小学校1・2年生は保護者の同伴が必要です）

定員：20名

教材費：700円

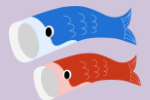
申し込み：5月9日(水)9:00から電話受付
先着順とします。



こどもの日 無料開放

5月5日(土)9:30~17:00

小中学生の入館・プラネタリウム観覧が無料です。小学校1・2年生は、保護者同伴とします。



巡回パネル展「はやぶさ君の冒険日誌」

6月1日(金)~30日(土)

郷土科学館ロビーで実施しています。入館時にご覧になれます。（入館料が必要です）

生き生きパソコン教室

6月7日(木)10:00~12:00

一般初心者を対象としたパソコン教室です。郷土科学館友の会事業です。全4回、毎週木曜日に実施します。

対象：一般（初心者）

定員：16名

教材費：1,000円

申し込み：5月30日(水)9:00から電話受付とします。



ペットボトルロケットづくり

6月16日(土)9:30~12:00

いわなびチャレンジスクールとしておこないます。会場は、郷土科学館です。

対象：小中学生（小学校1・2年生は保護者の同伴が必要です）

定員：20名

教材費：800円（含保険料）

申し込み：6月6日(水)9:00から電話受付
先着順とします。

岩見沢郷土科学館では、児童生徒への科学教育の啓発活動と郷土岩見沢の歴史を語り伝える活動を行っています。プラネタリウムの投影は、下記時間に行います。

また、主催事業、郷土科学館友の会との連携事業についてのお問い合わせ、参加申し込みなどは、岩見沢郷土科学館（電話 23-7170）までお電話ください。

ご利用のご案内

☆開館時間 午前9時30分~午後5時 火曜日は午後1時30分~

☆休館日 月曜日・年末年始(12/29~1/3)
(月曜日が祝日の場合は開館します)

プラネタリウム開演時間

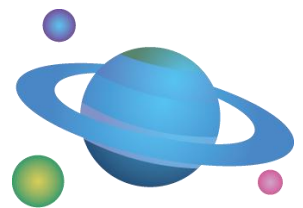
曜日	11:00	13:30	15:00
火曜日			15:00
水~土曜日		13:30	15:00
日曜日・祝日 小中夏休み中	11:00	13:30	15:00

料金

区分	入館	プラネタリウム
一般	310円	210円
高校生	210円	150円
小中学生	100円	100円

☆プラネタリウムの観覧は入館料も必要です。

☆団体は20名以上で、料金は2割引となります。



★南さんの星をかぞえて

元気象庁職員で、郷土科学館友の会会員の南 敏文さん（岩見沢市栗沢町在住）の撮影による天文写真を掲載します。南さんは、岩見沢郷土科学館天体教室の講師も務めていただいております。

このコーナーの写真と文 南敏文

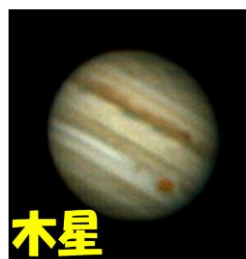
2018年にみられる注目の天体现象！



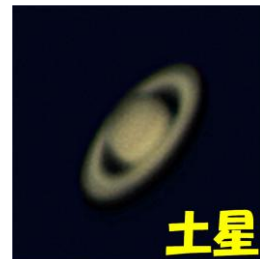
火星

今年最も注目する現象は、火星の大接近です。火星は太陽をまわる惑星の一つで、地球よりも外側をまわっています。2年2ヶ月ごとに地球に接近しますが、火星の軌道が楕円形をしているために、遠い距離で接近を終えるときと、とても近い距離で接近する場合があります。今年はとても近い距離で接近するので、普段は見られない火星の表面の様子が良く見えると言われています。科学館では、大接近を終えた8月18日に観測会を予定しています。

また、7月には夕方の空で見やすい木星を、9月には土星や、地球から遠ざかって小さくなった火星の様子を観察します。そのほかでは、8月13日ころに活動のピークを迎えるペルセウス座流星群が注目されます。今年には月のない星空の中で沢山の流星が見えると期待されています。暗いところなら1時間に70個ほど見られるでしょう。



木星



土星



こどもの日特別企画 5月5日(土)

1 大きなシャボン玉をとぼそう

郷土科学館自慢の大シャボン玉をとぼしましょう。

大人のからだもすっぽり包んでしまう30センチメートル以上の大きな大きなシャボン玉を、コイのぼりより高く、5月の青い空に思いっきりとぼしてみましよう。

2 パタパタ(かわり屏風)づくり

パタパタと音を立てながら、絵が変わる不思議なおもちゃ。昔の子供たちはお正月が近づくとこの木製の「かわり屏風(びょうぶ)」で遊んだそうです。

自分で木のおもちゃをつくってみませんか。



郷土科学館は、子どもたちの科学する心を育てます。

歴史と科学の館

岩見沢郷土科学館

〒068-0833 岩見沢市志文町809-1 TEL 0126-23-7170

